

英語

第1回

解答	配点
問1 (ア) No. 1 2 No. 2 1 No. 3 4 (イ) No. 1 3 No. 2 2 (ウ) No. 1 5 No. 2 clothes	問1 各3点×7=21点 問2 各2点×3=6点 問3 各3点×4=12点 問4 各4点×4=16点 問5 5点 問6 各5点×3=15点 問7 各5点×2=10点 問8 各5点×3=15点
問2 (ア) volunteer (イ) happier (ウ) choose	
問3 (ア) 1 (イ) 4 (ウ) 3 (エ) 1	
問4 (ア) 5, 2 (イ) 6, 3 (ウ) 2, 1 (エ) 4, 5	
問5 [例] when will it be held	
問6 (ア) 6 (イ) 1 (ウ) 2	
問7 (ア) 4 (イ) 3	
問8 (ア) 4 (イ) 6 (ウ) 5	

—採点基準— 問4 各完答。

[解説]

- 問1 問題の指示を読み、ポイントをしばって英文を聞くようにしよう。
- (ア) No. 1 テニスの試合についての対話。「テレビでその試合を見ましたか」→「いいえ。それ(=テニスの試合)を見にスタジアムに行きました」 No. 2 読書感想文をまだ書き終えていないクミに、ポールが提出期限まであと1週間しかないと言っている。「わかっています。私には1週間で十分です」が適切。 No. 3 ポールは放課後クミにたずねたいことがあるが、クミは職員室に行かなければならない。「図書館で待ってもいい？」→「もちろん。そこで会いましょう」 (イ) No. 1 冒頭でジュディは、シンジがギターを弾いてくれたことに感謝している。また、最後のジュディの質問「あなたもドラムを演奏しますか」にシンジは「自分は(ドラムを演奏)しないが、兄[弟]は(演奏)する」と答えている。 No. 2 ジュディの最初の発言に「おもしろいDVDを借りて、見るのをやめられなかった」とある。また、シンジは2つ目の発言で「終わらせなくてはならない数学の宿題がたくさんあって、終わるのに3時間以上かかった」と述べている。 (ウ) No. 1 ① 放送文で It is for players who play badminton very well ... join the Special Class if you have enough experience 「それ(=Special Class)はバドミントンがとても上手なプレーヤー向けです。…もし十分な経験があるのなら、Special Classに参加してください」と言っているので、「経験がある人のためのSpecial Class」が適切。 ② 表より、現在Class 2には16人の申し込みがあるが、放送文に「まだ14人参加できる」とあるので、募集人数は16+14=30(人)。 ③ 表より、Class 5(=Special Class)の募集人数は20人だが、放送文に「まだ8人求めている」とあるので、現在の申し込み者数は20-8=12(人)。 No. 2 放送文終わり近くで You can wear anything you like 「好きなものを何でも着てよい」と言っている。つまり「服については、運動に適していれば何でもよい」。
- 問2 (ア) 「あなたは市立図書館でボランティアとして働くことに興味がありますか」 マイが2つ目の発言で活動の内容を具体的に説明している。 (イ) 空所前後の more interested と than に着目。「私がそれら(=動物についての物語)を読むとき、子どもたちはいつもより興味を持ち、より幸せそうに見えます」 文脈に合う形容詞を考え、比較級にする。happy-happier-happiest (ウ) 空所のあとに着目。from many books in the library 「図書館のたくさんの本の中から」、your favorite ones(=books) 「自分のお気に入りのもの(=本)」をどうできるのかを考える。choose ～ 「～を選ぶ」
- 問3 (ア) 「私は数分後に戻ってきます」 <in+時間>で「(今から)～後に」。 (イ) 「もし私がひまだったら、あなたを手伝うのに」 現在の事実と反する仮定を表す仮定法過去の文。空所のあとが形容詞なので、be 動詞が入る。仮定法過去の文では、主語に関係なく be 動詞はふつう were を使う。 (ウ) 「私が子どものとき、友達といっしょに踊ることは私にとってとても楽しかったです」 動名詞は単数扱い。過去の文なので be 動詞は was。 (エ) 「私は週末に読むための本を何冊か借りました」 形容詞的用法の不定詞。
- 問4 (ア) Do you know who he is? 「あなたは彼がだれか知っていますか」 間接疑問文。<疑問詞+主語+動詞>の語順に注意。 (イ) ... because I was told to come after class. 「授業のあとに来るように言われたので…」 <人

+be 動詞+told to ~) (〈tell+人+to ~〉の文の受動態)の形。(ウ) Check your ticket before getting on the bus.「バスに乗る前にあなたの乗車券を確認しなさい」この before は前置詞。あとに動名詞 getting を続ける。(エ) Where did you buy the chocolate you gave me yesterday?「昨日あなたが私にくれたチョコレートを、あなたはどこで買いましたか」the chocolate を〈主語+動詞~〉で後ろから修飾する形。

問5 シュンがイベントの期間を答えていることから、イベントはいつ開催されるかをたずねていると考えられる。

問6 (ア) 【全訳】参照。(イ) 下線部のある文に続く3文を参照。『紙幣か硬貨』と答えた人が半数以上」なので4は不適。「ちょうどその(=『紙幣か硬貨』と答えた人々の)半分の数の人々が『電子マネー』か『クレジットカード』と答えた」ので2は不適。「クレジットカードを使う人は、たった8人」という条件に適するのは1。(ウ) b「ミユキの祖父が子どものころには、はがき20枚を100円で送ることができました」本文6~8行目参照。d「ミユキの兄(弟)は先月ヨーロッパのある国へ行き、そこで使われている紙幣を何枚かミユキに見せました」表のあとの本文6行目参照。

【全訳】

こんにちは、みなさん。私はミユキです。みなさんは2024年に日本の紙幣のデザインが変わることを知っていますか。今日、私はお金についてお話ししたいと思います。

私たちが現在ふつう使っている紙幣は約15年前に最初に現れたので、私は古い紙幣を知りません。先日私が祖父を訪ねたとき、祖父は古い日本の紙幣を何枚か私に見せてくれました。その中に100円札がありました。私は100円硬貨しか知らなかったもので、驚きました。100円札は私には外国の紙幣のように見えました。「私は子どものころよく100円札を使ったよ。そのころ私たちは100円で今よりたくさんのお金が買えた。当時ははがきを1枚送るのに5円しか必要なかった。だから私にとって数枚の100円札で十分だったんだよ」と祖父は言いました。私は、それはおもしろい話だと思いました。

それから、私は日本と外国の紙幣と硬貨について勉強しました。この表を見てください。表は3つの国と1つの地域でふつう使われている紙幣と硬貨についてのものです。

表

国や地域	紙幣の種類の数	硬貨の種類の数
日本	4	6
アメリカ	7	6
ヨーロッパ	7	8
中国	8	6

表は、ほかの場所では日本よりも多くの種類の紙幣が使われていることを示しています。2,000円札はあまり使われていないので、日本では私たちはわずか3種類の紙幣をよく使っています。私はインターネットで日本と外国の紙幣の写真をいくつか見ました。アメリカと中国で使われているすべての紙幣には、有名な政治家が出ています。古い日本の紙幣のいくつかには政治家が出ていましたが、現在使われている紙幣には文化の面で偉大な仕事をした人物が出ています。ユーロ札には人物がいまません。(ア) c 紙幣と硬貨のたくさんの異なったデザインを見るのは、私にとってとてもおもしろかったです。実は、私の兄(弟)は先月フランスに行き、私にユーロ札を何枚か見せてくれました。とても色彩豊かで美しいので、私はそれらが好きです。

しかし、最近外国では、紙幣と硬貨はあまり使われていないということも私は学びました。それらの国では、大部分の人はクレジットカードや電子マネーを使います。日本でもそれらを使う人はいますが、小さな商品を買うとき、多くの人は今も紙

幣と硬貨を使います。私はあおば駅前の通りで人々にいくつかの質問をしました。まず、100人に1つの質問をしました。グラフ1は彼らの答えを示しています。

グラフ1

店で500円支払うとき、どれを最もよく使いますか。

半数以上の人が「紙幣か硬貨」と答えたことを知って、私は少し驚きました。そして、ちょうどその半分の数の人々が「電子マネー」か「クレジットカード」と答えました。500円支払うときにクレジットカードを使う人は、たった8人しかいませんでした。たぶんその人々は、500円はクレジットカードを使うには(金額が)小さすぎると思っているのでしょうか。私は電子マネー用のカードを1枚持っていて、電車やバスに乗るときや店で食べ物や飲み物を買うときにそれを使います。(ア) b たくさんの小額硬貨を持ち運ぶ必要がないので、それは便利です。私たちが電子マネーで支払いをすると、次の買い物に出かけたときに使うことのできるポイントをいくつか得ることもできます。

それから、私の最初の質問に「紙幣か硬貨」と答えた人がそれぞれ私の2つ目の質問に1つだけ回答しました。グラフ2は彼らの答えを示しています。

グラフ2

なぜ紙幣か硬貨をよく使うのですか。

どこでも使うことができる。	50%	安全である。	20%
カードを持っていない。	10%	その他	20%

多くの人は、日本のすべての店で使うことができるので、紙幣か硬貨を使うことを好みます。以前よりも多くの店でクレジットカードや電子マネーを使うことができますが、多くの小さな店ではまだ紙幣や硬貨しか使うことができません。さらに、紙幣と硬貨はより安全だと考えている人がいます。おそらく、彼らは自分たちがお金を使いすぎてしまうかもしれないと心配しているのでしょう。(ア) a お年寄りや子どもたちの中にはカードを持っていないと答えた人もいます。

ヨーロッパのいくつかの国では紙幣や硬貨が使えない店があると私は聞いたことがあります。そのような店が、日本でも将来現れるでしょう。それは、ほかの支払い方法を持たないお年寄りや子どもたちには悪いニュースだと私は思います。ご清聴ありがとうございました。

問7 (ア) 注文は、オサムが大盛りの牛井ととん汁、母親が並盛りの親子井ととん汁。それらの合計代金は450円+200円+350円+200円=1,200円。店内飲食分に対する税金10%の120円を加えると1,320円。また、父親に持ち帰る大盛りのすき焼き丼(500円)は、持ち帰り分に対する税金8%の40円を加えて540円。よって合計は1,320円+540円=1,860円。

(イ) 最初にエミリーが提案した行き方で映画館に行けるのはB、C、D、E。次に、リカが2つ目の角にあるコンビニエンスストアに行きたいと言っているのでDは条件に合わない。2つ目の角を曲がったあと1つ目の角を左に曲がって映画館に行けるのはBとCで、映画館が右側にあるのはC。

【ア全訳】

オサムと母親は牛丼屋で昼食を食べるつもりです。彼らはメニューを見ています。
母親：ええと。全部おいしそうに見えるわ…うーん…よし。私は親子丼にするわ。あなたはどう、オサム？
オサム：今日はとても一生懸命にサッカーを練習したんだ。ぼくはとても空腹だから、大盛りの牛丼を食べたいな。
母親：いいわよ。私もおなかすいているけれど、並盛りで十分だわ。みそ汁が何かもある？
オサム：ええと…、ぼくはとん汁が好きだな。こんな寒い日には温まるだろうね。
母親：いいわね。私も同じものにするわ。
オサム：ああ、お父さんのことを忘れちゃいけないよ。お父さんに何か持ち帰るのはどう？
母親：その通りね。お父さんが家に帰ってから、食べることができるわね。お父さんの好物はすき焼き丼よね？
オサム：そうだよ。お父さんには大盛りがいいかもしれないよ。いつもたくさん食べるから。

問8 (ア) 【全訳】 参照。(イ) ポスターのあとの本文7～8行目に「英語の文字の大きさを変えるべきだ。昨年のポスターの文字は小さすぎる」というマイクの意見があり、ベティが同意している。同じくポスターのあとの本文12行目にベティの意見「漢字とひらがなを使うべき」があり、ユウタ、ノボル、ルイが賛成している。また、同じくポスターのあとの本文19行目のベティの提案「地図を描くのはどうか」にマイク、ユウタ、ルイが賛成している。ポスターのあとの本文30行目でノボルが「地図は右側にあるべきだ」と述べ、ベティ、ルイが賛成している。これらの意見を取り入れて昨年のポスターを修正すると、今年のポスターは6が適切。(ウ) a「ユウタは、悪天候のために、昨年多くの人が学園祭に来るのをやめたと考えています」本文10～12行目参照。e「マイクは以前『スタンプラリー』のイベントに参加したことがあり、学園祭でそのようなイベントをしたいと考えています」ポスターのあとの本文38～43行目参照。

【全訳】

ユウタ、ルイ、ノボルは高校生です。ベティとマイクはアメリカから来た生徒です。彼らは教室で学園祭について話しています。
ユウタ：やあ、みんな。会議を始めたいと思います。今日は、メンバーが何人か来ることができないので、この前の会議でルイが提起した問題についてほくたち5人しか話し合えないんだ。ルイ、その問題についてもう一度ほくたちに話してもらえる？
ルイ：もちろん。私たちの学園祭に来る人の数についての問題があると私は思うの。昨年、とても減少したわ。学園祭はこの町に住んでいる人に私たちの学校を紹介する最もよい機会のことだから、私はそれが残念なの。
ユウタ：ありがとう、ルイ。3年前は学園祭に2,000人以上の人が来た。2年前もほぼ同数の人が来た。でも、(ア)昨年、その数はたったの約800人だった。たぶん、悪天候が大きな理由だった。学園祭の2日間雨だったので、多くの人がほくらの学校を訪れるのをやめたのだとぼくは思うんだ。でも、その減少はそれでもとても大きいよ。
ベティ：ええ。私は昨年初めて学園祭に参加して、たくさんの人に学園祭に来て私たちの出し物を見てほしいと思っていたの。実際には少しの人しか来なくて、悲しかったわ。
ユウタ：ほくもだよ。今年はもっと多くの人にほくたちの学園祭に来て楽しんでほしいと本当に思うよ。人を引き寄せる方法についてたくさん考えなければいけないね。ほくらの学園祭には何か悪いことがあったのだと思うのだけど、それが何だったのかぼくにはわからないんだ。ノボル、何か意見はある？
ノボル：うーん、学園祭について人々に伝えるほくらのやり方が悪かったとぼくは思うな。ほくらは毎年、学園祭のポスターを作るよね。ここに昨年ほくらが作ったポスターがある。
ノボル：ポスターが何を伝えているのかを理解するのが外国人にとって難しいとぼくは思う。今たくさん外国人がこの町

母親：いいわね。さあ、注文しましょう。

【イ全訳】

リカとエミリーはドリーム・ムービー・シアターへ行くところです。彼女たちは映画館への行き方を見つけるために駅前地図を見ている。
リカ：見て！ ドリーム・ムービー・シアターはここよ。
エミリー：まっすぐ行ってから最初の角を右に曲がって、それから2つ目の角を左に曲がるのね？
リカ：待って、エミリー！ ほかの道があるわ。
エミリー：どういうこと？
リカ：映画館に行くためには、まっすぐに行ってから2つ目の角を曲がってもいいわね。2つ目の角にはコンビニがある。私はのどがかわいているから、何か飲み物を買いたいわ。
エミリー：大丈夫よ。より長く歩かなければならないということではないし、私も(飲み物)買いたいわ。そのあと、最初の角を左に曲がるのね？
リカ：そうよ。そうすれば映画館は右側にあるわ。
エミリー：わかったわ。行きましょう！

に住んでいるから、彼らを引き寄せるのはほくらにとって重要だよ。
ルイ：あなたの言いたいことはわかるけど、主な情報はすでに英語で書かれているわ。日付のようなほかの情報も英語で書く必要があるのかしら。マイクとベティ、意見を教えて。
マイク：英語で書かれた情報の量は十分だとぼくは思うよ。外国人は日本語で日付をよく理解できる。でも英語の文字の大きさは変えるべきだと思う。昨年のポスターの文字は小さすぎるよ。
ベティ：私も同じ意見よ。それと、英語を話さない人のことをもっと考えるべきだとも私は思う。この町に住んでいる多くの外国人は英語もあまりよくわからないのよ。漢字だけ読める人もいるし、ひらがなとかたかなだけ読める人もいるわ。だから、漢字とひらがなを使うべきよ。
ユウタ：よい考えだね。ノボルとルイ、それについてどう思う？
ノボル：ぼくはすばらしいと思うよ。ほくらは、ベティが言ったように、英語を話さない外国人たちのことを忘れていたね。
ルイ：私もそう思う。そのようにしたら、漢字を読めない幼い子どもたちを引き寄せることもできるわ。私はたくさん子どもたちに、親といっしょに私たちの学校を訪れて学園祭を楽しんでほしい。
ユウタ：わかった。その考えを採用しよう。ポスターについてほかの考えを持っている人はいる？
ベティ：ポスターに地図を描くのはどう？ 昨年のポスターに地図がなかったでしょ。この町に引っ越してきたばかりの人は私たちの学校がどこにあるのか地図なしで簡単にはわからないわ。
マイク：きみの言う通りだ。ぼくはときどきこの町で訪れたい場所への行き方を見つけるのに苦労するよ。地図があれば、ほくたちの学校への行き方がよりはっきりするだろうね。
ユウタ：それじゃあ、地図を描こう。美術部のメンバーがポスターを作ることになっている。ルイ、ポスターに地図を描くように、彼らのリーダーのマキに頼んでくれないかな？

ルイ：わかったわ。彼女に私たちの考えを見せるために、今大まかなレイアウトを描くね。

ルイは紙に大まかなレイアウトを描き、それからその紙をほかの生徒たちに見せます。

ルイ：これはどう？

ユウタ：うーん、悪くないけど…。

ノボル：ほくは左側の地図はよくないと思うな。地図は右側にあるべきだよ。

ルイ：それはこういうこと？

ルイは再び紙に大まかなレイアウトを描きます。ほかの生徒たちがそれを見ます。

ノボル：ああ、ずっとよくなった！

ベティ：私もそう思う。

ルイ：よかった。あとでそれをマキのところに持っていくわね。

ユウタ：ありがとう、ルイ。みんなは学園祭のプログラムについて何か考えがある？ より多くの人を引き寄せるおもしろいイベントをできないかな？

マイク：ほくは「スタンプラリー」のイベントをやりたいな。

ルイ：「スタンプラリー」？ それは、スタンプを集めるためにいくつかの異なる場所に行くもののこと？

マイク：そうだよ。それは実は日本の文化で、ほくたちの国には「スタンプラリー」はないんだ。先月、東京では初めてそれをやってみて、とてもわくわくしたよ。きっとほかの国から来た人や子どもたちもそれを気に入ると思うよ。

ノボル：もし、ほくらの学園祭でそのようなイベントをやるとしたら、人々は異なった教室や体育館に行き、そこでスタンプを手に入れるんだね？

マイク：そうだよ。そしてすべてのスタンプを手に入れた人は賞品を獲得するんだ。

ユウタ：おもしろそうだね。でもそのような大きなイベントをするのを決める前にほくらはたくさん考えなければいけないよ。ほかのメンバーの意見を聞く必要もある。次回の会議でそれについて話し合おう。マイク、そのときまでに、「スタンプラリー」のイベントのためにしなければならないことについて考えてもらえるかな？

マイク：わかった。やっておくよ。

英語 放送された英文▶第1回

問題(ア) No. 1

Paul: Hi, Kumi. What makes you so happy today?

Kumi: Hello, Paul. My favorite Japanese tennis player won a game.

Paul: Did you watch the game on TV?

Kumi: (チャイム)

No. 2

Paul: Have you written your book report, Kumi?

Kumi: No, not yet, Paul.

Paul: Really? It's already January 15. You only have a week before you must finish it.

Kumi: (チャイム)

No. 3

Paul: Kumi, I have something to ask you about our music club. Do you have time for it after school?

Kumi: OK, Paul, but my class teacher asked me to visit the teachers' room.

Paul: Oh, I really need your help. Can I wait for you at the library?

Kumi: (チャイム)

問題(イ) No. 1

Judy: Shinji, thank you for playing the guitar for us today. I really liked it.

Shinji: Oh, I'm very glad to hear that, Judy.

Judy: It was amazing! How did you learn the guitar?

Shinji: Well, I learned it from my father. He plays the drums, too.

Judy: Oh, that's nice. Do you play the drums, too?

Shinji: No, I don't, but my brother does. He learned

how to play the drums from our father.

No. 2

Judy: Good morning, Shinji. I'm sleepy today. I borrowed an interesting DVD and I couldn't stop watching it last night.

Shinji: Oh, I see. Actually, I'm sleepy, too.

Judy: Did you play video games or watch DVDs like me?

Shinji: No, Judy. I had a lot of math homework to finish and it took me more than three hours.

Judy: Oh, so long.

Shinji: Yes, it was very difficult.

問題(ウ)

Hi, everyone. Today I have useful information for you from our city gym. It is going to have badminton classes next month. People who have never played badminton can also join the classes. Actually, I joined one of the classes last year. I enjoyed it so much that I want to tell you about it today. The table shows five classes they are going to have, and it also shows how many people can join each class. Some classes will be full soon. But 14 people can still join Class 2 now. This class is for us, students under 18. I also want to tell you more about the Special Class. It is for players who play badminton very well. They still want 8 more people. So, join the Special Class if you have enough experience. To take the class, you should bring your lunch and water. You can wear anything you like if you can play well when you wear it. I hope you will learn and enjoy badminton through the classes. Thank you.